

I. 平成30年度の取組みの実績

グループ名称	和らぎの家・推進協議会				
H30採択グループ番号	07	—	0728	—	0567

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	グループとして30年度に最も力を入れたのは、地域の皆様に『住まい手の方々が笑顔で生活できる住まいをご提供すること』の実現に向けて、木材の選択から加工、設計、施工までの一連の流れの中で最高の状態を提供することを目指しました。
----	---

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	無	開催日		名称			
	内容							
② 消費者	消費者説明会 1	無	開催日		名称			
	内容							
	消費者説明会 2		開催日		名称			
	内容							
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2018/10/27	名称	関西ジャパン建材フェア	タイプ	見学会
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有	
	内容	未経験工務店にはジャパン建材㈱『快適住実の家』JKサポートセンターによるサービスを活用しました。	
取組み②	サポートの有無 2		
	内容		
取組み③	サポートの有無 3		
	内容		

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	0	発行予定	0
② 住宅履歴情報の保管先		機関名		

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	無	
内容		
② H30年度における施工構成員の廃業	無	
対応内容		

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有	
内容	ジャパン建材㈱『快適住実の家』から省エネ基準や政策などの情報発信を各構成員へ行いました。	
省エネ化に対する取組 ②		
内容		
BELS工務店の登録数	7 社	

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	和らぎの家・推進協議会			
H30採択グループ番号	07	—	0728	— 0567

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	無	開催日		名称			
	内容							
② 消費者	消費者説明会 1	無	開催日		名称			
	内容							
	消費者説明会 2		開催日		名称			
	内容							
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/10/26	名称	関西ジャパン建材フェア	タイプ	見学会
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	未経験工務店にはジャパン建材㈱『快適住実の家』JKサポートセンターによるサービスをフルに活用します。						
取組み②	サポートの有無 2							
	内容							
取組み③	サポートの有無 3							
	内容							

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	グループ	機関名	
------------	------	-----	--

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	グループが推奨するハートシステム(完成保証制度)を施主に推奨している。						

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み (新築)	有						
内容	構成員の設計事務所及び施工業者に向けて省エネ基準について案内を行う予定です。						
省エネ化に対する取組み (改修)	有						
内容	構成員のリフォーム専門事業者に向けて省エネ基準について案内を行う予定です。						

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	無	実施日		
内容				
研修計画 ②		実施日		
内容				

II. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	和らぎの家・推進協議会				
H30採択グループ番号	07	—	0728	—	0567

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	当グループの共通ルールは主要構造材に県産材もしくは合法木材を60%以上確保し使用する。 羽柄材にも地域材の採用の枠を広げる。(間柱、野縁等) 土台・柱は地域の桧材を中心に採用する。梁、桁は地域の杉集成材・合法木材を中心に採用する。
----	---

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満		50%以上	■	80%以上	
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明					
主要構造材	土台	有	当グループは地域型住宅の拡大を図る為、枠組み工法の施工業者も参加している。産地の証明に関しては国内・外国産(合法木材)使用する為、その場合流通業者による納品書等で地域材の証明とする。			
	柱	有				
	梁・桁等の横架材等	有				
羽柄材	間柱、根太、垂木等	無				
造作材	枠材、廻縁等	無				
板材	壁板、床板等	無				

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	建築資材の調達については、安定供給と安価な仕入れを考慮し、共同購入は強制していないが、グループ間での資材供給を推奨している。	
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	長期優良住宅仕様のリスト等を活用し、グループ全体の生産性を向上する。地域材のサンプルを活用し、施主に対して木の優しさのある住宅のPRに努める。	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	産地と市場との関係を強固なものとした上で、地元の木材問屋と関係を密にしている。	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	断熱材やその他省エネ、耐震の資材購入にはグループ内にて統一したものを使用し、安定供給に努める。	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	グループ内でメンテナンス実行時、現場研修会を開催する。	
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有	
内容	事務局が中心となり、任意の検査も検討して行く。	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	各施工業者の標準仕様による設計図書及び見積書の作成を実行し、施主への提示を義務付ける。瑕疵担保責任保険に加入、現場検査にて施工過程の明瞭化に努める。	
⑧ その他の共通ルール	無	
内容		

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	構成員によっては既に週休二日制を導入しているが、特に施工構成員については、現場の作業もありなかなか難しい。事務局から積極的に呼びかける。
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	当グループには、軸組工法と枠組工法の構成員がメンバーに在る為、グループ内での交流を図り、建築知識の拡大を目指す。
③ 社会保険への加入	無	内容	
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	無	内容	

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	和らぎの家・推進協議会				
H30採択グループ番号	07	—	0728	—	0567

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	無	内容	
② 和瓦の活用	無	内容	
③ 襖・障子の活用	無	内容	
④ 地域の伝統的素材の活用	無	内容	

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	兵庫地区では、歴史的な街並みのある姫路市、たつの市等古からの街並みの景観を乱さないように配慮した住宅造りに努めます。
② 地域の住まい方の継承	有	内容	再生可能エネルギーを活用した次世代型の環境配慮住宅の供給に努めます。
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	都市と農村の交流による地域の活性化、優れた地域景観の創造や保全により、地域の個性を活かしたうつくしく豊かな住まいを推進する。

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み	
地域材に対する地域の拡大も見据える。	
② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み	
地域材に対する地域の拡大も見据える。	